

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年5月15日  
東

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所  
 コード番号 3656 URL <http://www.klab.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真田 哲弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部長 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-4500-9077  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	4,425	24.8	96	—	106	—	51	—
25年12月期第1四半期	3,546	—	△212	—	△154	—	△159	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 48百万円(—%) 25年12月期第1四半期 △169百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	1.56	1.50
25年12月期第1四半期	△6.39	—

(注) 1. 平成25年12月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 平成25年12月期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	8,301	4,846	57.7
25年12月期	8,697	4,007	45.5

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 4,793百万円 25年12月期 3,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,925	25.4	216	—	216	—	141	—	4.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	34,216,100株	25年12月期	33,058,600株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	1,185,500株	25年12月期	1,189,600株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	32,786,652株	25年12月期1Q	24,982,531株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は、前連結会計年度より決算期を8月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、当第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年3月31日）は、比較対象となる前第1四半期連結累計期間（平成24年9月1日～平成24年11月30日）と対応する期間が異なることから、前年同四半期の比較については記載しておりません。

■ 当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,425,544千円となり、前四半期比（注）7.2%の増加となりました。

■ 売上高の増加要因は、以下の通りです。

- ・年始イベントにより平成26年1月の売上が好調。
- ・「ラブライブ！スクールアイドルフェスティバル」が引き続き好調。
- ・当第1四半期連結累計期間に新規リリースした「天空のクラフトフリート」が売上増加に寄与。

■ 売上高の減少要因は、以下の通りです。

- ・不採算・低利益率案件からの撤退に伴う売上減少。

■ 費用面では、期首に開示した計画の通り全てのコストの見直しを実施しました。

- ・人員数については、期首計画の830人規模までの人員削減目標を達成。平成25年12月末時点に比べ141人減の825人まで削減を実施。
- ・国内子会社の整理統合を実施。これに伴い経理や人事等の共通部門を統合し間接費用を削減。
- ・海外拠点・地方拠点のオフィスの整理縮小を実施。平成26年第2四半期より費用削減効果が出る見込み。
- ・外注費については、昨年度に引き続き更なる削減に取り組み、ピーク時（平成25年12月期第2四半期）に比べ53.9%の削減を達成。

■ この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,425,544千円、営業利益96,097千円、経常利益106,486千円、四半期純利益51,100千円となりました。

(注) 前四半期比：平成25年12月期第5四半期（平成25年9月～平成25年12月）と当第1四半期連結累計期間を比較しています。なお、前四半期は会計期間の変更に伴い4ヵ月間となっているため、3ヵ月換算（3/4を乗じる）をしております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は8,301,089千円となり、前連結会計年度末に比べ、396,546千円の減少となりました。

流動資産合計は6,240,139千円となり、前連結会計年度末に比べ、628,306千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金、売掛金の減少によるものであります。

固定資産合計は2,060,950千円となり、前連結会計年度末に比べ、231,760千円の増加となりました。これは主に、無形固定資産の増加によるものであります。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,454,776千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,235,461千円の減少となりました。

流動負債合計は3,373,331千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,207,154千円の減少となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

固定負債合計は81,444千円となり、前連結会計年度末に比べ、28,306千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,846,312千円となり、前連結会計年度末に比べ、838,914千円の増加となりました。これは主に、資本金、資本剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

■ 平成26年12月期第2四半期連結累計期間の業績見通し

当社グループの属するモバイルオンラインゲーム業界は、ヒット作の有無により業績が大きく変動いたします。現時点において、平成26年12月期（通期）の業績見通しを見積もることは困難であるため、平成26年12月期（通期）の業績見通しは開示いたしません。

なお、平成26年12月期第2四半期連結累計期間の業績見通しは以下の通りとなっております。

平成26年12月期第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

売上高	8,925百万円
営業利益	216百万円
経常利益	216百万円
四半期純利益	141百万円

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,517,756	3,580,861
売掛金	1,877,506	1,767,518
その他	479,619	898,146
貸倒引当金	△6,436	△6,388
流動資産合計	6,868,445	6,240,139
固定資産		
有形固定資産	300,294	286,226
無形固定資産		
のれん	71,856	63,889
その他	549,435	759,379
無形固定資産合計	621,292	823,269
投資その他の資産	907,602	951,454
固定資産合計	1,829,189	2,060,950
資産合計	8,697,635	8,301,089
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	723,964	954,407
短期借入金	2,750,000	1,400,000
賞与引当金	101,407	37,261
その他	1,005,114	981,662
流動負債合計	4,580,486	3,373,331
固定負債		
長期借入金	97,288	75,000
その他	12,463	6,444
固定負債合計	109,751	81,444
負債合計	4,690,237	3,454,776
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,748,090	3,143,420
資本剰余金	2,443,846	2,839,175
利益剰余金	△570,623	△519,523
自己株式	△626,131	△624,307
株主資本合計	3,995,181	4,838,765
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△41,218	△45,737
その他の包括利益累計額合計	△41,218	△45,737
新株予約権	44,699	42,605
少数株主持分	8,734	10,677
純資産合計	4,007,397	4,846,312
負債純資産合計	8,697,635	8,301,089

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	3,546,082	4,425,544
売上原価	2,555,759	3,261,818
売上総利益	990,322	1,163,726
販売費及び一般管理費	1,202,600	1,067,628
営業利益又は営業損失(△)	△212,277	96,097
営業外収益		
業務受託料	5,711	19,978
受取利息	335	1,050
為替差益	54,582	—
事業構造改善費用戻入額	—	11,368
その他	155	1,114
営業外収益合計	60,784	33,512
営業外費用		
支払利息	2,405	3,480
為替差損	—	18,605
その他	187	1,036
営業外費用合計	2,593	23,123
経常利益又は経常損失(△)	△154,086	106,486
特別利益		
自己新株予約権消却益	—	2,344
特別利益合計	—	2,344
特別損失		
事務所閉鎖損失	—	13,069
固定資産除却損	12	—
その他	—	39
特別損失合計	12	13,108
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△154,098	95,722
法人税等	2,600	42,350
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△156,699	53,371
少数株主利益	2,923	2,271
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△159,622	51,100



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△156,699	53,371
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12,427	△4,847
四半期包括利益	△169,127	48,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△172,120	46,581
少数株主に係る四半期包括利益	2,992	1,943

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)

## 1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

## 1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、ドイツ銀行ロンドン支店による新株予約権の権利行使等があり、資本金が395,329千円、資本準備金が395,329千円増加しました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,143,420千円、資本剰余金が2,839,175千円となっております。

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,242,774	303,307	3,546,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,242,774	303,307	3,546,082
セグメント利益	898,687	91,635	990,322

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っておりません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

ゲーム事業セグメントにおいて、平成24年9月3日付でメディアインクルーズ株式会社の発行済株式総数の100%の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては307,101千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,414,456	11,087	4,425,544
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,414,456	11,087	4,425,544
セグメント利益又は損失(△)	1,166,646	△2,920	1,163,726

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。